

## < 会場までのアクセス >

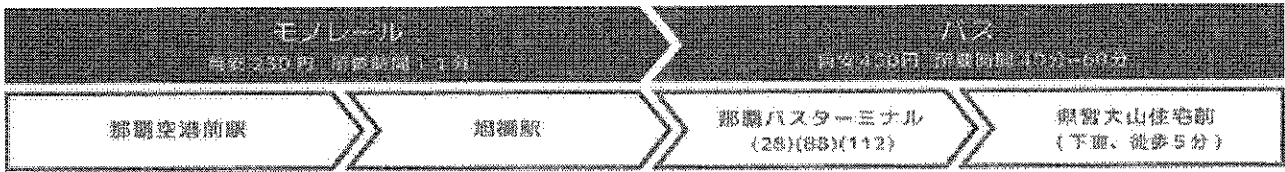
会場: まりりんぎのわん(宜野湾マリン支援センター)

住所: 宜野湾市大山7-10-27

TEL: 098-942-2201

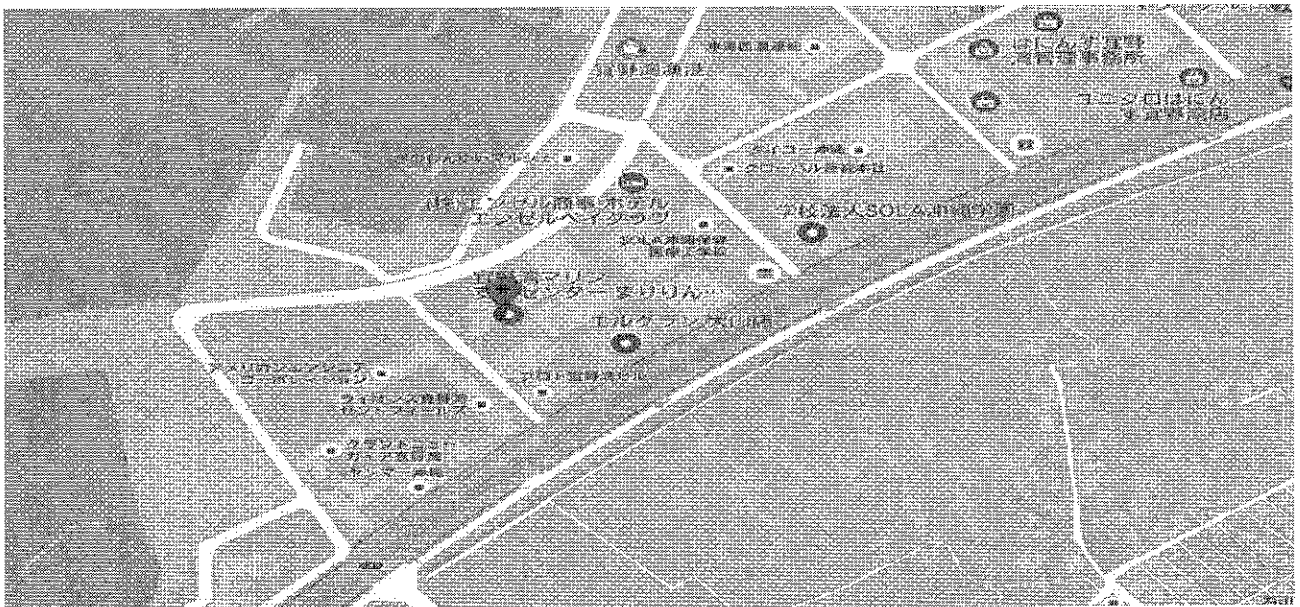
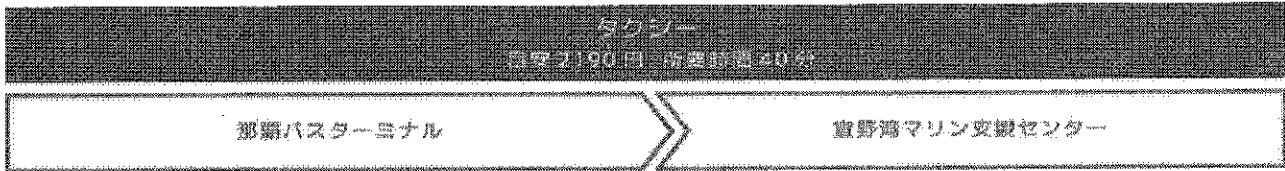
※宜野湾バイパス通り、沖縄コンベンションセンター近く

## モノレールからバスの乗継ぎの場合



【注】系統番号(28)はコンベンション会場に直達

## タクシーの場合



## 第1回 「平成29（2017）年度 入退院支援連携デザインに係る研修 開催要項

1. 目的： 地域包括ケアシステムの視点（個別・組織・地域）から、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制や医療・介護関係者の情報共有について、都道府県医療介護連携調整実証事業が行われた県における病院・地域等の取り組み過程を学ぶことにより、地域包括ケアシステム構築に寄与することを目的とする。
  2. 主催：沖縄県  
一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
  3. 対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士  
退院調整看護師等・地域医療連携室職員・地域医療連携室等の医師  
市町村職員・地域包括支援センター職員（保健師・看護師）等  
訪問看護ステーション／介護保険施設の看護職等
  4. 日時：2018（平成30）年 1月20日（土）10：00～17：00
  5. 場所： 宜野湾マリン支援センター まりりんぎのわん  
（宜野湾市大山7丁目10-27 TEL098-942-2200）
  6. プログラム：  
9：30～10：00 受付、プレアンケート  
  
10：00～10：10 開会挨拶（主催者・沖縄県高齢者福祉介護課）  
  
10：10～11：45 講演：「患者のどう生きるかを支えるアセスメントの実際（I）  
多職種と協働する入退院支援～医療ソーシャルワーカーの視点・看護師の視点～」  
講師：富樫 八郎 氏（沖縄大学 教授）
- ※地域包括ケア時代の患者や家族への支援にはスピードが求められる。科学的で意識的な協働支援は、スピードの支援に伴う多職種間に生じる摩擦や情報の洩れなどをなくすることができる。  
患者の生活自立QOLの向上といった「社会生活機能」の促進を共通の目標にして、医療ソーシャルワーカーと看護師の質の高い協働実践のあり方を考える。
- 11：45～13：00 質疑応答、休憩
  - 13：00～14：15 講演：「地域包括ケアシステムに貢献する入退院連携と在宅療養支援への取り組み」  
講師：郡 章人（こおり あきひと）氏  
（地方独立行政法人徳島県立鳴門病院 地域医療連携室/医療福祉相談室  
医療ソーシャルワーカー、徳島県医療ソーシャルワーカー協会会長）

※入退院連携や在宅療養移行支援へのシステムの強化に向けた取り組みには、患者・家族のニーズの充足に向け、時には資源の開発やシステム作り等も含めた取り組みが期待される。その際、医療機関の入退院支援部門は、「自院の資源を活かしながら、地域の関係機関の協力を得てどのように取り組むべきか」という問題意識に対し、解決構築に結びつける方法を必要としている。今回、院内外との連携の仕組みづくりのフレームとしてSWOT分析とバランススコアカードを活用した実践事例を通し戦略的マネジメントについて学ぶ。

14：15～14：30 質疑応答、休憩

14：30～14：45 報告①：(仮)「入院時情報を活かした入退院支援システム  
～中頭病院の取り組みの紹介～」

講師： 宮里 京子 (みやざと きょうこ) 氏  
(社会医療法人敬愛会 中頭病院 長期入院対策室 室長)

14：45～15：00 報告②：(仮)「生活の場に帰ることを支援する取り組みについて  
～那覇市立病院の退院時情報連携看護サマリーの紹介～」

講師： 宮城 さとみ (みやぎ さとみ) 氏  
(地方独立行政法人那覇市立病院 地域医療連携室 退院調整看護師)

※県内各圏域では、医療・介護関係者の情報共有について様々な取り組みが始まっている。医療機関では、＜入院前からの退院支援＞として、入院前の情報集約や院内多職種間の情報共有・退院調整時の地域との情報共有が喫緊の課題となっている。患者・家族の思いや生活の目標、生活場面での状況を理解し、多職種の視点で退院支援・在宅移行を行う、急性期病院における取り組みを学ぶ。

15：00～15：10 質疑応答、休憩

15：10～16：30 情報共有・意見交換

＜県内医療機関・市町村等の取り組みについて＞

※先進地域では、医療・介護関係者の情報共有について、情報共有ツールを看護サマリーとして運用する等、地域のニーズや状況に応じた院内外・地域での取り組みも行われている。

各医療機関での取り組みについて、特に退院調整看護師と訪問看護師・施設看護師間や、地域包括支援センター保健師等との入退院調整時の情報共有ツールの活用方法や、既存の院内ツールの変更や改編・統合等、関係職種が活用しているシート等を持ち寄り、院内外における情報共有の課題や改善の取り組みについて意見交換を行う。

16：30～16：45 まとめ

16：45～17：00 ポストアンケート、閉会挨拶 (主催者・沖縄県医療ソーシャルワーカー協会)

7. 申し込み方法：申込書を記載の上、期限(12月28日)までにFAXにてお申し込み下さい。

那覇市立病院 医療福祉相談室 (樋口 美智子) 行  
FAX 098-887-3599

参加申し込み票

第1回 「平成29(2017)年度 入退院支援連携デザインに係る研修

平成30年1月20日～患者のどう生きるかを支えるアセスメントの実際～

～切れ目のない在宅医療と介護の提供体制や医療・介護関係者の情報共有について～

1 市町村名： \_\_\_\_\_

2 所属機関名： \_\_\_\_\_

3 連絡先TEL： \_\_\_\_\_

// FAX： \_\_\_\_\_

4 参加者：

	氏名	職種 / 役職名等
1		
2		
3		
4		
5		

○平成29年12月28日までにFAX(098-887-3599)により提出してください。

○受付は市町村毎に申込み順とさせていただきますので、ご了承ください。

定員超過の場合は、ご連絡いたします。